

お宅のブロック塀は大丈夫ですか？

平成30年6月18日に大阪府北部で発生した地震では、小学生が倒れたブロック塀の下敷きになって亡くられました。平成28年4月に発生した熊本地震など、過去に発生した地震においてもブロック塀の倒壊により、多数の死傷者が出ています。

正しく施工されていないブロック塀や、老朽化したブロック塀は、地震時に倒壊して、通行人に危害を及ぼすおそれがあるだけでなく、避難・救援活動の妨げになる可能性がありますので、日ごろから所有者の責任による適切な管理が必要です。

主なチェックポイント

気になる点が一つでもあれば、建築士などの専門家に相談しましょう。

○塀の高さは、地盤面から2.2メートル以下（ブロック10段程度）ですか？

○塀の長さ3.4メートル（ブロック8個程度）以下ごとに控壁（ひかえかべ）がありますか？（塀の高さが1.2メートル以下の場合は控え壁がなくてもよい。）

○鉄筋が、縦横とも80センチメートル以下の間隔に入っていますか？

○塀が傾いていたり、ひび割れていたりしていませんか？

岐阜県岐阜・西濃建築事務所	0584-73-1111（内線384、387）
中濃建築事務所	0574-25-3111（内線333）
東濃建築事務所	0572-23-1111（内線333）
飛騨建築事務所	0577-33-1111（内線392）
岐阜県都市建築部建築指導課	058-272-1111（内線3792）

補強コンクリートブロック塀のイメージ図

